

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和元年11月7日

公表: 令和2年1月27日

事業所名 放課後等デイサービスポカラポット

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11		・はい	
	2	職員の配置数は適切である	10	1	個別対応が必要な日は、配置を通常よりも増やしている。	・送迎や外出の際の人員配置は、施設内に残るスタッフや一部のスタッフに負担がないよう、安全性を第一に今後も配置をしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	1		・出入口等のスロープはあるが車椅子でのトイレや移動は困難な部分がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11		サービス前の打ち合わせの方法を一新した。	・個別対応など打ち合わせを通して情報等を共有し、支援の精度を上げていく。 ・フィードバックや記録等は詳細に残し、より密度の高いMTになるように責任者が働きかけていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1	スタッフミーティングで、結果のフォローアップの機会を設けている。	・評価に際し、評価前、評価後に全体MTを開催し、施設の来年度の改善計画に反映していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	7		・県の指導監査は受けているが、第三者による評価となる微妙。 ・第三者評価はまだ受けていない。GMが第三者評価調査者の資格を取得しているため助言をもらっている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11		外部研修にも積極的に参加している。	・月に一回の社内全体MTの実施、各施設MTの定期実施、作業部会や市主催の研修会等への参加 ・個人では、外部研修、学会等への出席で、自己研鑽に努めている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11		希望する保護者には、Vineland-IIを実施している。	・保護者からWISCなどの検査結果も任意で情報提供してもらい、サービス担当者会議や支援計画の作成の活かしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	3		・Vineland-II、LDI-Rを希望される方に実施。また、受検できることを周知していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11			・月のMT、日日の打ち合わせにて、今後も計画的に合議で行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11		・遊びが固定化しないようにオリジナルリティを高めていく ・毎日同じではない	・様々なスタッフが打ち合わせに参画することで、多様性を高めていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11		・月のMTで大まかな計画を作成している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11			・集団を活かした個別支援を念頭に置いて、計画作成に臨んでいく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11		・打ち合わせで、個別と全体の動き、予測を確認し合っている	・サービス前の打ち合わせに手順書を設けた。

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11		・ヒヤリハットの共有を同時に行っている。	・サービス後の打ち合わせに手順賞を設けた。 ・終業前に必ず一定時間を取り、その日の様子や支援の実施状況を共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11			・個別の情報を共有し、口頭や紙媒体で記録を残し次回への検証や改善につなげている。 ・記録の研修も来年度のスタッフMTに含めている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11			・スケジュールを作成、適宜進めている。支援ソフトの導入により、抜けや遅滞なく実施できる体制が整備された。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	11			・全スタッフに回覧し目を通してもらっている。定期的に行っていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		・学校や相談員の呼びかけで担当者会議に参加することもある。	・必要に応じて、事業所からの開催提案もしていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11		・ダブルチェックを確実にし、疑問点等は保護者や各機関に連絡、相談をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	9		※対象児の受け入れをしていない為該当者がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	6	・実績がない(要望がない)	・施設利用予定保護者からの要望があれば、しっかりと応じたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	9	・過去に1ケースあったが、口頭での引継ぎだけだった	・相談支援事業所へ、終結にあたっての支援経過報告書を作成するようにしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11		・県や市主催の研修などには参加している。	・子どもたちのサービスを第一に考えながらも、可能な限りスタッフを派遣できるよう努めていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	2		・公園レク、児童館、催事イベント等で地域の健常児との緩やかな交流についての視点は、頭に留めておきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	11		・はい	・来年度以降も、長久手市の自立支援協議会、名東区の自立支援協議会に参加予定。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	11		・来所、帰所等や送迎時の話をしたり、連絡帳を通してコミュニケーションを取っている。 ・面談等も行っている。	・保護者への最適な対応職員を想定した現場配置も考慮していきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	2	・ペアトレまではいないが、日々意見交換、情報共有をしている。トレーニングという形は取っていない。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11		・契約時は、1時間～1時間半の時間を保護者にいただき、丁寧に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11		・時間外や不定期でも希望や状況に応じて、相談支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11		・保護者参加の行事を通して交流の機会を図っている。	・親の会・父母の会としての場や組織を期待される保護者がどれぐらいいるのか、希望聴取していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11		・スタッフ→管理者→GM→社長で、GMが対応責任者を務めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	2		・HPのニュース欄を充実させていきたい。 ・月ごとに予定カレンダーを作成し配布している。

35	個人情報に十分注意している	11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの名前が記入されている書類は(名字のみ、名前のみでも)シュレッダーで破棄している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ研修の中で定期的に確認していきたい。</li> </ul>
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のみではなく、写真や絵、音声データ、メールなど、様々な方法を採用している。</li> </ul>
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り等のイベントでの交流あるが、招待という形まで取っていない。今後のイベントの在り方を再考したい</li> </ul>

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	4	・今年度中に左記のマニュアルの全てのリニューアル・周知を進める。	・今年度中に鋭意中。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11		・昨年は消防署員を招き、防災学習・防災体験を実施した。	・来年度も今年度好評だった取り組みを継続したい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11		・スタッフMTで毎年欠かさず行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	7		※身体拘束が必要なケースを受け入れていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	5		※医師の指示まで必要な利用児はいない。(アレルギーの有無の確認は保護者に面談の度に確認している。)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11		・2号3号ともヒヤリハットを共有している。	・就業ミーティングの際に随時出し、毎月事例を集計し対策を話し合い共有している。